

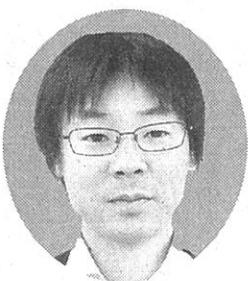
サイ・テク 知と技の発信

埼玉大学・理工学研究の現場

[214]

より効率的な静脈物流

大窪 和明 大学院理工学研究科 助教



埼玉経済

おおくぼ・かずあき 1982年生まれ。2009年3月東北大学大学院修了。博士(学術)。東北大学東北アジア研究センター助教を経て、13年4月から現職。専門は土木計画学。

ヒトの血液の流れを動脈と静脈に分けて考へることができます。生産されたモノが消費者に届くまでの流れを動脈物流と呼び、これに対して、消費者が使い終わって廃棄されたモノの回収、運搬、保管を経て処理または再資源化されるまでの

■入札方式を研究
使用済みの容器包装や小型家

構築する上で、この静脈物流の結果たす役割は大きく、私は、よし良い静脈物流システムの構築に向けた研究に取り組んでいます。

電製品の廃棄物は市町村が回収し、再商品化事業者がリサイクルしますが、リサイクル事業を委託される再商品化事業者は一般競争入札によって決まります。

再商品化事業者は、処理費用や回収量の見込みを踏まえて入札額を決めますが、廃棄物の排出は計画的に行われるものではなく、これから排出される量を予測することが難しいため、入札構造は複雑です。

私の研究では、日本の容器包装廃棄物のデータを基に競争入札の構造を探り、事業者の選定方法について考察を深めるとともに、より良い入札方式について研究を進めています。競争入札構造に関する研究はオーケーションの研究として、近年、経済学を中心に急速に進展しています。

また、米国では1993～94年の専門家が無線周波数オーナーの設計・実施に関わったで施設が20～30年で廃止され

（買い手が入札額を書いた紙を封筒に入れて提出するような方法）、支払い額の決め方などの違いでさまざまな方式があります。

（買い手が入札額を書いた紙を封筒に入れて提出するような方法）、支払い額の決め方などの違いでさまざまな方式があります。

企業、団体、商店街などの話題や情報を寄せください
TEL 048-795-9161 FAX 048-653-9040
keizai@saitama-np.co.jp